



平成30年8月30日

報道関係者各位

国立大学法人帯広畜産大学

「ベトナム南部の“ホンカイ島”で新種のリスを発見」

ベトナム南部のホンカイ島はインドシナ半島から約18km離れた場所に位置する面積わずか4km²の小島である。2017年にベトナム生物資源・生態研究機関がこの島の哺乳類相を調査した結果、小型の樹上性リスの生息が確認された。

帯広畜産大学環境農学研究部門の押田龍夫教授、ベトナム生物資源・生態研究機関 (Son Truong Nguyen 博士, Phuong Huy Dang 研究員, Hai Tuan Bui 研究員), そして京都大学総合博物館の本川雅治教授による共同研究チームがこのリスを詳細に調べた結果、タイワンリス属に分類されるが、インドシナ半島に分布する同属の種と比べて著しく小型であり (他種の平均体重は200~300g以上であるがこのリスはわずか153gである), DNA塩基配列も大きく異なることが明らかになった。押田教授らの研究チームはこのリスを新種 (和名:ホンカイリス, 英名: Hon Khoai squirrel, 学名: *Callosciurus honkhoaiensis*) として、アメリカ哺乳類学会の雑誌 *Journal of Mammalogy* の8月号に公表した。ホンカイリスはこれまでにホンカイ島でのみ確認されており、本島の固有種である可能性が高い。

ホンカイ島は更新世の氷期においてインドシナ半島と長期間地続きであったと考えられ、固有の新種リスが生息するとは研究チームも予想していなかった。今回の発見は、東南アジアに生息する他の様々な哺乳類の進化史を解明する上で大きく役立つと考えられる。また、インドシナ半島周囲島嶼部の固有哺乳類種の希少性を検討し、その保全に関する施策を将来的に検討する上でも重要な発見である。

【発表雑誌】

雑誌名: *Journal of Mammalogy*

論文タイトル: A new species of squirrel (Sciuridae: *Callosciurus*) from an isolated island off the Indochina Peninsula in southern Vietnam

DOI: 10.1093/jmammal/gyy061

論文 URL: <https://academic.oup.com/jmammal/article-abstract/99/4/813/5036103?redirectedFrom=fulltext>



新種のリス：ホンカイリス（和名）

【問い合わせ先】

国立大学法人帯広畜産大学

環境農学研究部門

教授 押田 龍夫

電話：0155-49-5501

E-mail: oshidata@obihiro.ac.jp